

講義要項作成様式（講義用）

平成18年度 後期

大学院

（該当区分のみに加工してください。）

授業科目 都市交通特殊研究 _____ 2単位 担当教員 三古 展弘 _____

I. 授業のテーマと目標

地域および都市における交通需要マネジメントには効率的な交通システムの整備が不可欠であり、そのためには個人の交通行動の理解と適切な需要予測手法が必要である。本講義では、従来使われてきた集計モデルおよび、近年用いられている非集計モデルを用いた交通行動分析について取り扱う。講義における適用事例は交通行動であるが、非集計離散選択モデルは他の学問分野での適用例も多い。そのため、交通以外を専門とする学生の受講も歓迎する。受講者の希望に応じて、演習を取り入れたり、受講者による発表形式で講義を進めることも検討している。

II. 教科書・参考書(予定)

【教科書】

- ・ 北村隆一・森川高行編著（2002）交通行動の分析とモデリング，技報堂出版。

【参考書】

- ・ Ben-Akiva, M. and Lerman, S. R. (1985) Discrete Choice Analysis: Theory and Application to Travel Demand, The MIT Press.
- ・ 土木学会土木計画学研究委員会編（1995）非集計行動モデルの理論と実際，丸善。
- ・ 交通工学研究会編（1993）やさしい非集計分析，丸善。
- ・ 竹内伝史・本多義明・青島縮次郎・磯部友彦（2000）〔新版〕交通工学，鹿島出版会。
- ・ 樗木武・井上信明（2002）交通計画学〔第2版〕，共立出版。

III. 授業内容の要旨と授業計画

1. 交通行動分析の基礎（交通と交通調査）
2. 交通行動分析 集計モデル1（集計型4段階推計法の概略）
3. 交通行動分析 集計モデル2（発生・集中）
4. 交通行動分析 集計モデル3（分布）
5. 交通行動分析 集計モデル4（分担）
6. 交通行動分析 集計モデル5（配分）
7. 交通行動分析 非集計モデル1（2項選択モデル）
8. 交通行動分析 非集計モデル2（多項選択モデル）
9. 交通行動分析 非集計モデル3（特定化と推定）
10. 交通行動分析 非集計モデル4（集計化と予測）
11. 交通行動分析 非集計モデル5（多次元選択）
12. 交通行動分析 非集計モデル6（非集計モデルの最近の動向，または演習）
13. 交通行動分析 非集計モデル7（非集計モデルの最近の動向，または演習）
14. 交通行動分析 非集計モデル8（非集計モデルの最近の動向，または演習）
15. 交通行動分析 非集計モデル9（非集計モデルの最近の動向，または演習）

IV. 成績評価の方法

試験およびレポートによって評価する。

V. 学生へのメッセージ

事前知識は特に必要としないが、ミクロ経済学の基礎と確率・統計学の知識があったほうが望ましい。講義には電卓（できれば関数電卓）を持参すること。